

連続追及 内視鏡・腹腔鏡手術「こんな医者が危ない」

リウマチ 変形性膝関節症ほか「後遺症」が残る手術

大橋巨泉 「今週の遺言」最終回 「私も薬でひどい目に遭いました」

週刊現代

給料の金額によっては年金を減額されるので要注意

60歳からの「得する働き方」「損する働き方

医者
本
当
は
手
術
し
な
い
ほ
う
が
い
い
「
が
ん

生活習慣病薬 病気別「副作用」一覧

糖尿病のジャヌピアは肝臓にダメージ リピトールで床ずれに 脳梗塞・心筋梗塞のプラビックスで眼底出血ほか

定価430円
7月9日 Weekly Gendai 2016 July

「爆買いバブル」終了で銀座の高級デパートが泣いている
「うつ病」「認知症」の薬も考え方直したほうがいい
7・10参院選 最新版「落ちる議員」「落ちそうな議員」の名前

断つたほうがいい「薬と手術」

それでも手術しますか、これでも薬飲みますか

大反響
第5弾



吹石一恵 藤原紀香 武田久美子 斎藤由貴 石田ひかり

小池栄子 菊川怜 中山美穂

橋本マナミ

愛人についたい女No.1
工口すぎるカラダを見よ！

矢吹春奈 未公開「ヘアヌード」

袋ぞじ 本物のグラビアアイドルの「ベア」見ておかないと損をする！

古瀬絵理 見納め「完熟スイカツプ」

大反響
第5弾

ぶちぬき 28ページ!

大切な家族の命 を守りたいなら

医者に言われても 断つたほうがいい

「薬と手術」

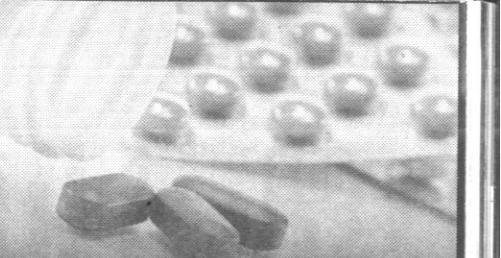
それでも手術しますか、それでも薬飲みますか

第一部

- 連続追及 内視鏡・腹腔鏡手術の真実
- 咽頭がん 喉頭がん 食道がん 前立腺がん ほか
医者が切りたがるがんも手術しないほうがいい
- 糖尿病 高血圧 高コレステロール 脳梗塞・心筋梗塞
生活習慣病薬 病気別「薬の副作用」一覧
- 医者とMRが本音を告白
「安くて安全な薬」より、「高くて危ない薬」を出すんです

第二部

- リウマチ 变形性膝関節症 脊柱管狭窄症 ほか
この手術をしたら一生、「後遺症」が残ります
- 妻に受けさせてはいけない手術が他にもある
- 衝撃の事実 統合失調症の薬で85人死んだ
- 「うつ病」と「統合失調症」は薬を飲めば飲むほど
悪くなる 認知症も考え直したほうがいい
- 実例多数 「病は気から」は本当だった



読者からの大きな反響を
呼んでいる「薬と手術」
特集。医者を信用したい
けどしきれない……多く
の人がそう思っていたと
いうことだ。第5弾も大
増ページでお届けする。

第一部

読者からの問い合わせが殺到

内視鏡・腹腔鏡手術の真実

新規登録者数 過去最高を更新

「よその病院に助つ人と
して呼ばれて、手荷物立
クシデントが起きた。

—その病院に取扱い人として呼ばれて、手術に立ち会つたときのことです。腹腔鏡による初期胃がんの手術で、執刀医は30代半ばの若い医者でした。彼は若いのに腹腔鏡手術の経験が豊富だとう評判でした。

ところが、手術中にア

クシデントが起きた。田
わぬ出血が広がり、血が
止まらなくなつて腹腔鏡
では対処しきれなくな
たのです。

緊張感が高まり執刀医はパニックに近い状態になつた。結局、私が強く開腹を進言し、ことなきをえたのですが、心底ハラハラしました。

あとで聞いてわかつたことですが、この若い医者は腹腔鏡の手術ばかりをやつていて、そもそも外科医の基本である開腹

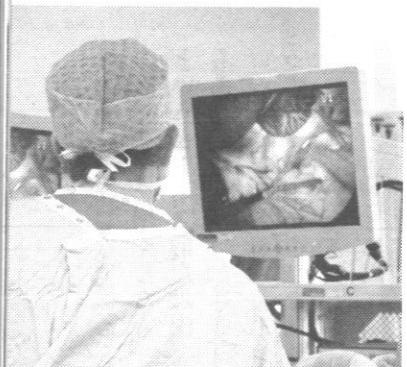
それでなんとしても腹腔鏡手術を進めようとして
パニックに陥つたんです」
こう語るのは、都内の
大学病院に勤める40代の
外科医だ。

少ない「低侵襲手術」として広く行われるようになつてゐる。だが、低侵襲の手術だから安心といふわけにはいかないのはこのエピソードを見ればわかる通りだ。

し、患者の腹の中でなにが起こっているのか、直接見ることができないのだ。がんの手術だつたら予想以上にがんが広がっていることだつてあるし、心臓手術であれば、不意に脈が停止してしまふ可能性だつてある。そ

うしたときによつさに手術法を切り替えられなければ、命取りになる。

現在若い医師たちが、腹腔鏡手術ばかりをやったがるのが問題になつて います。手術の症例を増やせば、日本内視鏡外科 学会で認定医や指導医の資格をもらえるシステム になつて いるからです。



カネのためにやつている

『垂直断端』でがんが残るといいます。内視鏡ではなかなか気づかない。また、リンパ節転移もわからない。術前に検査を行つて転移がないかどうか確かめますが、それでも2割くらいは見過

腹腔鏡や内視鏡の技術に習熟したベテラン医師であっても、そもそもこの技術の限界といふものがあるのだ。がんであれば、初期であればよくても、隣の臓器へ浸潤している場合は腹腔鏡では対応しきれない。

内視鏡や腹腔鏡の手術で若い執刀医に当たる危険性は言うまでもない。だが、ベテラン医師の腹腔鏡手術も不安だ。といふのもそもそも開腹手術が得意な外科医は、腹腔鏡という新技術に対しても懐疑的な人が多い。つまり逆に言えば、ある程度

す。あるいは気体が静脈の中に流れ込んで心臓が止まってしまうというようなこともあります。なぜ、こんなに危険で面倒な手術を進めようとするのか私にはわかりません。低侵襲といいますが、手術後の痛みは同じようになりますしね。

科医」だつた可能性が高いのだ。

ベテラン医師を信頼してはいけない理由は他にもある。医療ジャーナリストの田辺功氏が語る。

「新人医師は指導医につきながら段階を踏んで技術を向上させていきます。しかし、指導医がない小さな民間病院などで、ある程度の年齢の医師が初めて腹腔鏡手術を行うケースがある。これが危ない。こうした小さな病院では、腹腔鏡手術の機器を販売しているメー

手術をしない場合、放射線、抗がん剤、重粒子線などの治療法が主に挙げられるが、前出の岡部氏は、昨今「ある治療」が注目されていると言つ。『トモセラピー』と呼ばれる、立体的にがんをとらえ、がんがある部分にのみ放射線を当てることができる治療装置です。がんだけを狙うことができるため、副作用を大幅に抑えることができます。日本にはまだ20台ほどと少ないですが、アメリカではどんどん普及しています」

さらに手術以外で、もう一つ有効な治療法が「マイクロ波」だと岡部氏は言う。

大学病院が一番危ない

がんが見つかった時点では手術はせず、保存的な治療を考えるべきでしょう。手術をしたらそのまま病院から出られず、半年後

直腸がんが肛門に近いところにできた場合、肛門（肛門括約筋）も含めてがんを切除する必要があり、人工肛門が必須となる。

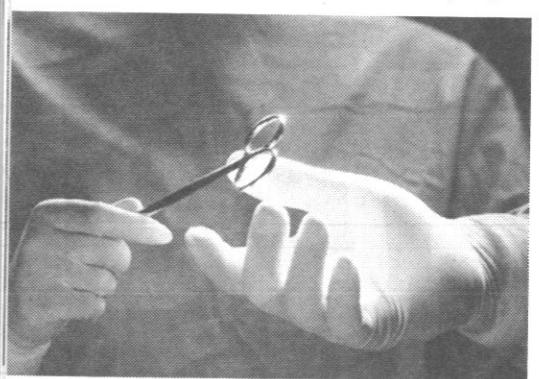
大腸がんの手術をした山口雅春さん（65歳・仮名）が言う。

人生、一体どっちが幸せだつたのだろうか』と分からなくなることがありますね』

仮に手術は成功しても合併症の不安は常につきまとう。胃がんの代表的な合併症として挙げられるのが腸閉塞だ。胃を切除了した場合、食べ物が直接小腸や大腸を通過するので消化しきれず詰まってしまい、猛烈な腹痛に襲われる。体力が低下している高齢者にとっては、命の危険性もある。

がんの中では比較的切除が容易とされるため、

「マイクロ波とは、針の先から電子レンジと同じ電磁波を射出し、がんを焼いてしまうものです。肺がんや乳がんなど多くのがんに対応しています。CTで見ながら行うので、がんの部位をピンポイントで焼くことができ、約2～3cmのがんまで可能です。



多い。しかし、手術を続けて放射線治療などによってれば、2～3年生きるとは珍しくありません。

超えれば手術をする必
はない」と断言するのは、
医師であり、医療ジャ
ナリストの富家孝氏だ
「前立腺がんは高齢者
多いがんですが、この
んによる死亡者数は、
んの中でも10位と決し
多くありません。前立
がんは他のがんに比べ
行が遅いので、放置し

「便が漏れたらどうしよう」という不安と、自分が気になり、なかなか出できなくなりました一度バス旅行に行つたのですが、不安と緊張のため車内でパニック症状起こしてしまったんです。それ以来、遠出はていません。

生きるためには仕方ないことだとは分かつて、がんの手術は、その者の年齢と大きな関係ある。

歐米では珍らぬのか常識

いるのですが、残りの人生を考えたら、もっと手術に対して慎重に考えればよかつたと後悔しています」

は『何もなくて良かつた
ですね。こればっかりは
切つてみないと分からな
いから』と平然と言いの
けたのです。手術以来、
父は痩せてしまって、長
期入院のため仕事も辞め
ざるを得なくなつた。
なぜあの時、セカンドド
クターピニオンを取るなどし
て、他の医者の意見を聞
かなかつたのか、本当に
後悔しています」

と言われたのです。動搖した父は、医者にすすめられるままに手術を受けました。

きりと「肝臓がんですね」と、患者は手術を受けないといふのが常識となつています。日本でも70歳以上の患者は手術を受けないことが多い（富家氏）。

日本人男性の死因で、もつとも多い肺がん。進行が早いため医者はすぐ長を遅らせることがで

終わりますよ」とすすめてきますが、手術ミスで術後の合併症のリスクを考えると断つたほうが明です」

だが実際には、医者一度がんと診断される外科手術で前立腺を切することを選ぶ人が、を絶たないという。

「『がん恐怖症』と言ますが、切ったほうが多いと信じ込んでいる日本人には多い。前立がんの治療の基本は外手術ではなくホルモン法です。このがんは男ホルモンの分泌で大きくなるので、女性ホルモ

かった』と後悔する人が
なくならないのはそのた
めです』

東京中央メディカルクリニック理事長の白川太郎氏も「もし手術を受けられるなら、大学病院より市中病院がいい」と言う。

「大学病院にいる医者の多くの最終目標は、教授になること。そのためには世間をあつと言わす論文を書かなくてはならない。だから彼らは、いろいろと新しい手術を試したがるのです」

医者の言うことを盲信するのではなく、とにかく自分自身で情報を集める。そして自分の価値観に照らし合わせて治療法を決める必要がある。

りません。運悪く未熟な医者に当たる可能性も十分ある。手術をするかしないかの判断は、医者の力量の差がもつとも大きい部分です。名前だけ

すい臓がんは早期の発見が難しく、見つかった時はすでにかなり進行している場合が多い。

「腫瘍が1cmを超えていると手術はしないほうがいい。ステージIVになら」と他の臓器やリンパ節に転移している可能性が高い。取りきれなかつたがんが、手術により活性化し、より増殖することも

に切りたがるが、これまた手術をしないほういい場合もある。

「70代以上の患者にとって、肺を切除することかなりの負担になります。息切れや動悸を起こしそくなり、日常生活をすることが非常に困難になる。さらに手術をした上で、肺炎などの合併症を起こす可能性も高くなり、手術をしたばっかりに死期を早める可能性性があります」（呼吸器専門医）

がんの中でももつと治療が難しく、生存率が低いのがすい臓がんだ。

糖尿病の薬の副作用

薬名	薬の副作用
DPP-4 阻害薬 ジャヌピア エクア ネシーナなど	ジャヌピアはアナフィラキシー反応（アレルギー反応で呼吸困難や湿疹、嘔吐など）という重大な副作用もある。エクアやネシーナは重大な副作用として肝炎、急性胰炎、横紋筋融解症、腸閉塞などがある。すべてに共通しているのは、行き過ぎた低血糖が招く弊害だ。多剤併用には十分に注意したい。
SU剤 アマリール ダオニール オイグルコンなど	SU剤は膵臓からのインスリン分泌を促して血糖値を下げる薬。体に合わないと急激に血糖が下がり、うつに似た症状に陥ることがある。他の糖尿病薬と一緒に低血糖を招くと冷や汗が出たり、手足が震えたり、力が入らなかったりすることがある。頻度は稀であるが、肝機能障害で黄疸が出ることもある。
チアゾリジン アクトス ビオグリタゾンなど	主な副作用として肝機能障害、むくみ、急激な体重増加などが挙げられる。さらに、アクトスは膀胱がんのリスクがあるのでないかと疑われており、フランスやドイツでは承認が取り消されている。アメリカでは15年、アクトスの発がん性リスクをめぐって、製薬会社が3000億円規模の和解金を支払った。

代表的な糖尿病薬にチアゾリジン系（代表的な薬はアクトス、ビオグリタゾン）があるが、この薬は心不全を発症・悪化させる可能性があると指摘されており、注意が必要です。

SU剤は膀胱がんを発症させるというデータもあり、フランスでは回収騒ぎも起きた。現在、糖尿病薬でもっとも売上高が高いのがジヤヌピアやエクアなどの要だ。さらには膀胱がんを発症させるというデータもあり、フランスでは

DPP-4阻害薬と呼ばれるタイプの薬だ。だが、この薬は飲み続けると肝臓や腎臓に負担をかけ、障害を引き起こすこともある。

糖尿病の薬は色々なタイプがありますが、共通していることはどれも非常によく「効く」こと。これは逆にいえば血糖値を下げ過ぎて、低血糖になる恐れがあるということです。低血糖になれば脳の機能に異常が出て、ひどい場合は命にかかわることもあるのです」（新潟大学名誉教授・岡田正彦氏）

高齢者が薬を飲み続けることによって深刻な低血糖になる事例が増えてきている。実際、今年5月、日本糖尿病学会と日本老年医学会は、高齢者の高血糖の基準を改めたほどだ。

「低血糖はうつ病に似た症状も引き起こします」と語るのは血液栄養診断士の佐藤智春氏。

「ある女性から『最近、夫がイライラしていて、性格が変わったようだ』と語るのは血液栄養診断士の佐藤智春氏。

精神科でうつ病の薬も処方されているという。しかし

アクトスは膀胱にダメージほか

ジャヌピアは肝臓にダメージほか

糖尿病

イブがありますが、共通していることはどれも非常によく「効く」こと。

これは逆にいえば血糖値を下げ過ぎて、低血糖になる恐れがあるということです。低血糖になれば脳の機能に異常が出て、ひどい場合は命にかかわることもあるのです」（新潟大学名誉教授・岡田正彦氏）

高齢者が薬を飲み続けることによって深刻な低血糖になる事例が増えてきている。実際、今年5月、日本糖尿病学会と日本老年医学会は、高齢者の高血糖の基準を改めたほどだ。

「低血糖はうつ病に似た

症状も引き起こします」と語るのは血液栄養診断士の佐藤智春氏。

「ある女性から『最近、夫がイライラしていて、性格が変わったようだ』と語るのは血液栄養診断士の佐藤智春氏。

精神科でうつ病の薬も処方されているという。しかし

高齢者の場合、このよ

うな自律神経の異常は血

管の収縮につながり、心

筋梗塞を引き起こしたり、

認知機能を低下させることもあるのでとりわけ気をつけたい。

「アマリールやダオニールなどのSU剤は血糖を下げ過ぎて、認知症が悪化してしまう患者さんもいます」（長尾クリニック院長・長尾和宏氏）

は遅い。やめ時が肝心だ。

これでもあなたは飲みますか

病気別「薬の副作用」一覧

糖尿病

高血圧

高コレステロール

脳梗塞・心筋梗塞

一生やめられなくなる飲んだら、



腦梗塞·心筋梗塞

**フラビックスで眼底出血、
イグザレルトで消化管出血ほか**

や胃潰瘍を引き起こす
ともある。

うことも言われている。
私の印象ではプラスマイナスでゼロではないかと
いうところです。

**大反響
第5弾 医者に言われても
断つたほうがいい「薬と手術」**

脳梗塞・心筋梗塞の薬の副作用

薬名	薬の副作用
抗血小板薬 プラビックス バイアスピリン など	プラビックスは'14年度に日本で最も売上高の多かった大ヒット薬。心筋梗塞や脳梗塞の再発防止に使われるが、「脳梗塞の予防になるというエビデンスはない」(岡田氏)。バイアスピリンは鎮痛解熱剤として用いられることが多い。ともに大量に投与すると、重度出血の可能性あり。
抗凝固薬 ワーファリン イグザレルト など	ワーファリンはビタミンK作用に拮抗して血を固まりにくくする。納豆や緑黄色野菜の摂り過ぎで、作用が打ち消されてしまうという難点がある。イグザレルトはそのような食べ合わせの問題はないが、出血に注意が必要である点は同じ。他に肝障害、間質性肺疾患などの副作用も。

発予防のために血液をサラサラにする薬は大きくわけて二つの種類がある。一つは抗血小板薬。これは動脈硬化が原因で生じる血の塊をできにくくす

る薬（アスピリクス、バ
リアスピリンなど）だ。
もう一つは、血が滯つて
いるところでできるフイ
ブリン血栓をできにくくす
る抗凝固薬（ワーフア
リンやイグザレルト）な

どである。

「手術のときに血が止まらなくて困る患者さんが時々いる。そういう人はたいてい血液サラサラの薬を飲み過ぎてしているのです。場合によっては命にかかることもあります」

抗血栓薬も抗凝固薬も出血しやすくなるという点では同じだ。ちょっとぶつけただけで青あざができやすくなったり、眼底出血、消化管出血、歯ぐきからの出血、血尿などが起こりやすくなったりする。バイアスピリンは大量に服用すると胃炎

よく処方されているメ
ヤーな薬なので、医師も
患者も意識していないかも
知れないが、それだけは
危険な薬ということだ。
またワーファリンはビ
タミンKを抑えることで、
血を固まりにくくすると
いうメカニズムなので、
ビタミンKを多く含む食
品（納豆やクロレラなど）
を摂ってしまうと、薬の
効果は失われてしまう。
「心房細動がある人には
ワーファリンを使うよう
に」とガイドラインに書い
てあることもあって、非
常にしばしば処方されて
いる薬です。心筋梗塞の
予防になるというデータ
がある一方で、副作用と
して脳出血が増えるとい

つたりした場合、訴えられる可能性がある。現に裁判で『ガイドラインに書いてあることをなぜやらないのか』と責任を求める判例も出ています。ただ、現実的には脳出血や消化管出血で重症になる高齢者のはうが多いので、使い方が非常に難しい薬なのです』（新潟大学名譽教授・岡田正彦氏）

医者とMRが本音を告白
「安くて安全な薬」より、「高くて危ない薬」を出すんです

製薬会社の営業マン

超高額な薬で荒稼ぎ

MRが言う。

「製薬会社が高い薬を売

い。薬の値段には、広告

宣伝費や、研究補助の名

日本で大学の先生に寄付した研究費、そして全国で

6万人といわれるMRの

いますから。

MRは正しくは『医薬

情報担当者と言います
が、要するに先生のところに行つて『この薬はこういう患者さんに使つてください』『これ、何とか使つていただけませんか』と頼むのが主な仕事です。

ーの薬を使うかは、「MRとの人間関係で決める」という先生も、実は多いんです」

現在、医薬品の売り上げランキング上位には、高価な新薬が並んでいます。昨年の国内1位・4位は、ともに同年発売されたばかりのC型肝炎の薬ハーボニーとソバルデイ。07年に認可された抗がん剤のアバスチンや、09年に発売された糖尿病

薬のジャヌビアなど、比較的新しい薬の名前ばかりだ。

「ハーボニーは、1ヵ月あたりの費用総額が200万円超えという、超高額な薬です。また、今話題のがん治療薬オプジー^ボは、年間の費用が3500万円（いずれも患者負担は3%）とケタ違い。オプジーアボは、当初は皮膚がんの薬として14年に呆僕適用が認可された。

たが、その後肺がんにも
使えるようになつて爆発
的に売り上げが伸びたの
です。

もし今後、重大な案件

が発生すれば、下手するとその薬自体にストップがかかりかねません。患者にとつてもメーカーにとつても、いわば両刃の剣です」（前出・MR）

究極の「高くて危ない薬」——今まさに、「オブジーボのような高い薬を医療保険でまかなく」と、国の財政が破綻してしまう」という激論までも起きている。

こうした超高額な薬でなくとも、多くの人が飲んでいる「売れ筋」の薬の中には、もつと安く効果も遜色がないものがあるにもかかわらず、あえて処方されている「高い薬」も少なくない。

分かりやすいのが、高血圧の治療薬だ。例えば、ARBが15円前後。それに対して、近年主流のアジルバやオルメテック、「13年」に論文不正が問題になつたデイオバンなどのAR

方しているメマリーといふ認知症治療薬がありまます。「記憶回復に効果がある」という触れ込みで「11年に認可された薬で、患者は年額約13万円のうち1／3割を自己負担します。このメマリーはその後、記憶回復効果があまりないことが分かつてしまい、今では製薬会社と学会は「怒りっぽくなつた認知症患者の興奮を抑えるために使つてほしい」と言つてゐる。

私は興奮を抑えるにはウインタミンのほうがある効だと思います。ウインタミンの薬価は年額でもおよそ6000円ですから、メマリーの20分の1以下です。

ところが、ウインタミンは古い薬で薬価も安いから、製薬会社は儲かりません。そのせいか、昔は粉薬と錠剤があつたのに、今では錠剤が製造中

B（アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬）は、1錠130～140円と高価で、患者の年間負担額に

都内の大学病院に勤める内科医が言う。

「昨年の薬の売り上げベスト10には、3種類もARBが入つていました。ARBは、いまに3000億円を超える巨大市場です。『これを飲めば、血圧が穏やかに下がる』という売り文句で、この10年あまりで爆発的に成長したのです。

しかしそも、ARBを使わずに、ずっと安価な利尿薬やカルシウム拮抗薬を使っても血圧は下げられる。そのほうが、ARBの3割程度まで薬価を抑えられますし、医療費の節約にもなる」

ダイエットや、塩分を控えるといった生活習慣の見直しも重要なのは、言うまでもない。

先述したようなARBなどの降圧剤、あるいは「売れる薬」「高くて儲かる薬」に力を注ぐのは、それがビジネスである以上、当然の成り行きとも言える。その背景には、

製薬業界が近年立たされつてゐる「苦境」もかかわっている。

近年では、テレビドラマでよく見るよう、MRが医師を料亭やゴルフで接待することは、原則として禁じられている。

それでも、医師に営業をかけ、使つてもらわないことは、新薬の利用を広げることができない。

「ですから、最近はもうぱら主戦場が製薬会社主

止になつてしまひました」

製薬会社が、こうして「売れる薬」「高くて儲かる薬」に力を注ぐのは、

それがビジネスである以上、当然の成り行きとも言える。その背景には、

製薬業界が近年立たされつてゐる「苦境」もかかわっている。

近年では、テレビドラマでよく見るよう、MRが医師を料亭やゴルフで接待することは、原則として禁じられている。

それでも、医師に営業をかけ、使つてもらわないことは、新薬の利用を広げことができない。

「ですから、最近はもうぱら主戦場が製薬会社主

止になつてしまひました」

製薬会社が、こうして「売れる薬」「高くて儲かる薬」に力を注ぐのは、

それがビジネスである以上、当然の成り行きとも言える。その背景には、

製薬業界が近年立たされつてゐる「苦境」もかかわっている。

近年では、テレビドラマでよく見るよう、MRが医師を料亭やゴルフで接待することは、原則として禁じられている。

それでも、医師に営業をかけ、使つてもらわないことは、新薬の利用を広げることができない。

「ですから、最近はもうぱら主戦場が製薬会社主

止になつてしまひました」

製薬会社が、こうして「売れる薬」「高くて儲かる薬」に力を注ぐのは、

それがビジネスである以上、当然の成り行きとも言える。その背景には、

製薬業界が近年立たされつてゐる「苦境」もかかわっている。

近年では、テレビドラマでよく見るよう、MRが医師を料亭やゴルフで接待することは、原則として禁じられている。

それでも、医師に営業をかけ、使つてもらわないことは、新薬の利用を広げことができない。

「ですから、最近はもうぱら主戦場が製薬会社主

止になつてしまひました」

製薬会社が、こうして「売れる薬」「高くて儲かる薬」に力を注ぐのは、

それがビジネスである以上、当然の成り行きとも言える。その背景には、

製薬業界が近年立たされつてゐる「苦境」もかかわっている。

近年では、テレビドラマでよく見るよう、MRが医師を料亭やゴルフで接待することは、原則として禁じられている。

それでも、医師に営業をかけ、使つてもらわないことは、新薬の利用を広げことができない。

「ですから、最近はもうぱら主戦場が製薬会社主

止になつてしまひました」

製薬会社が、こうして「売れる薬」「高くて儲かる薬」に力を注ぐのは、

それがビジネスである以上、当然の成り行きとも言える。その背景には、

製薬業界が近年立たされつてゐる「苦境」もかかわっている。

近年では、テレビドラマでよく見るよう、MRが医師を料亭やゴルフで接待することは、原則として禁じられている。

それでも、医師に営業をかけ、使つてもらわないことは、新薬の利用を広げことができない。

「ですから、最近はもうぱら主戦場が製薬会社主

止になつてしまひました」

製薬会社が、こうして「売れる薬」「高くて儲かる薬」に力を注ぐのは、

それがビジネスである以上、当然の成り行きとも言える。その